

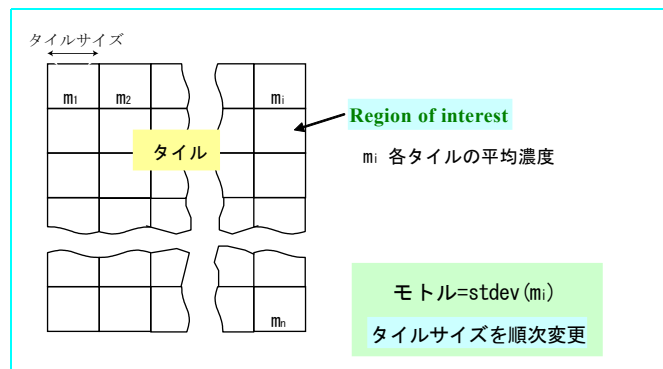
濃度ムラ（モトル）の評価の例

測定装置

スキャナを入力装置とし、DA-6000（王子計測機器）とマクロ評価（DA-6000のオプションソフトウェア）によって計測します。
今回はエプソン製スキャナES-2200を使い、取り込み条件は、300dpi、反射原稿としました。

測定原理

取り込んだ画像を、小さな領域に分割し（以下タイルと呼ぶ）、各タイルの平均濃度を求め、その標準偏差を求めます。
各タイルの平均輝度のバラツキが少ないほど（標準偏差が小さいほど）、ムラが少ないと判断できます。
また、注目するムラの大きさ（タイルのサイズ）で、結果が変わることもあるので、DA-6000では一度に6つのサイズで計算させることができます。



測定例

30%の網点を印字したサンプル2点を、比較しました。
タイルサイズを0.8~16.9mmまで変えてみましたが、今回のサンプルでは、良いサンプルの方が全域にわたって、標準偏差が小さく、ムラが少ないことが分かります。

